



『今金男ひやく』すくすく成長中！

町内の小学校に食農教育の教材本を贈呈



6月15日、小田島親守組合長が、今金小学校・種川小学校を訪問し、JAバンク食農教育応援事業の一環として補助教材本「農業とわたしたちのくらし」を贈呈しました。

JAバンク食農教育応援事業は平成20年から行われており、当JAでも毎年教材の贈呈を行っております。この事業は、小学校・高学年に向けて農産物の生産、農産物の流通などについて、補助教材を通じて子供達が学び、改めて農業との繋がりを意識し農業への理解を深めてもらう事が狙いです。

また、農業体験学習活動、地元の食材を使った学校給食の促進活動など教育活動の実践が行われる事も大きな目的としています。

軟白長ネギ 目揃い会を実施



今金町軟白長ネギ振興会は、6月22日に目揃い会を開催しました。

当日は、販売担当職員より出荷基準などの説明があり、また出荷先市場の方々にもお集まり頂き、消費者に喜ばれる商品出荷に向けて意見を交わしながら、目揃いが行われました。

種子馬鈴薯防疫補助員に4名委嘱



平成30年度種子馬鈴薯防疫補助員として上田富男さん、油家正人さん、津村好見さん、日置勇馬さんの4名が農林水産省横浜植物防疫所長より委嘱され、6月7日にJA今金町で委嘱状の授与式が行われました。

全筆合格を目指し、健全な種いも生産の為に補助員の皆さんにご指導頂きます。

ミニトマト振興会 現地研修会を開催



今金町ミニトマト振興会は、6月25日に現地研修会を開催しました。夏場に向けた高温対策や、今後導入が検討されている新品種の栽培方法について、外部講師より講演頂いたほか、2名の生産者のハウスで生育状況等の視察を行いました。曇天が長期間続いております。今後栽培管理に注意が必要です。

ゆめぴりか良質米表彰式を開催



6月20日に札幌市で29年産「ゆめぴりか」における優秀な生産出荷の成績に敬意を表し、表彰式が行われました。
当町では生産者69名に対し52名が表彰対象となり、タンパク値が6.8%以下の生産者に金色、タンパク値7.4%以下の生産者にえんじ色の認定マーク入りのマグネットが授与されます。道南地区ブランド形成協議会長である中野公郎組合員に授与されました。

～お詫び～

広報JAいまがね2018年6月号（vol. 509）表紙の『新嘗祭』献穀米御田植祭の献穀者の氏名に誤りがございました。ご本人関係者の方々にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

誤 吉本 恵理子さん → 正 吉本 栄理子さん



理事会報告

第6回理事会（平成30年4月4日）

◆報告事項

1. ALM委員会の報告について
2. ゴールデンウィーク期間の業務について
3. 監事報酬の配分について
4. 平成30年度種馬鈴薯面積配分について
5. 平成30年度今金町農林業補助事業について

◆議決事項

- 議案第1号 農業委員の選任について
議案第2号 檜山北部広域農協連役員の選任について
議案第3号 各委員の選任について
議案第4号 行政庁提出業務報告について
議案第5号 理事報酬の配分について
議案第6号 平成30年度における貸付金の利率の最高限度について
議案第7号 一組員に対する信用供与等の最高限度額について
議案第8号 同一人に対する信用供与等の最高限度額について
議案第9号 組合員以外の者に対する信用供与等の最高限度額について
議案第10号 5千万円超の信用供与等の最高限度額について
議案第11号 余剰金の運用の方針及び運用方法について
議案第12号 企業年金規約の改正について

◆協議事項

1. 第50回の通常総会の意見・要望について

第7回理事会（平成30年4月26日）

◆議決事項

- 議案第1号 米穀及び雑穀保管倉庫の建設について
議案第2号 実施設計業務の委託について
議案第3号 第17回臨時総会開催日程について
議案第4号 臨時総会提出議案等の承認について
議案第5号 信用事業方法書の改正について

第8回理事会（平成30年5月18日）

◆報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会の報告について
3. 第1四半期監査の実施について
4. 内部審査結果報告について
5. 内部監査実施要項に基づく年間活動報告について
6. 組合員の加入・脱退状況について
7. 第1四半期部門別実績対比について
8. 平成30年度種馬鈴しょ防疫補助員候補名簿の変更について
9. 預託牛の入牧について
10. 広域連通常総会の報告について
11. 平成29年度JAバンク基本方針に基づくJA財務モニタリング報告について
12. 負債の整理状況について
13. 中央会・ホクレン役員海外視察研修について
14. 全国監査機構監査の実施について

◆議決事項

- 議案第1号 ディスクロージャー誌（H30年度事業）について
議案第2号 平成30年度「コンプライアンス・プログラム」の策定（案）について

- 議案第3号 平成30年度米出荷契約金の立替払いについて

- 議案第4号 信用限度を超える貸付金の承認について

◆協議事項

1. JA今金町夏祭りの開催について

第9回理事会（平成30年6月25日）

◆報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会報告について
3. 第二委員会報告について
4. 第一・第二合同委員会報告について
5. 内部審査結果報告について
6. 上半期棚卸監査の実施について
7. 種子馬鈴薯防疫検査日程について
8. 農畜産物の販売状況及び生育状況について
9. 今金町畜産共進会について
10. 監事協議会総会及び研修会

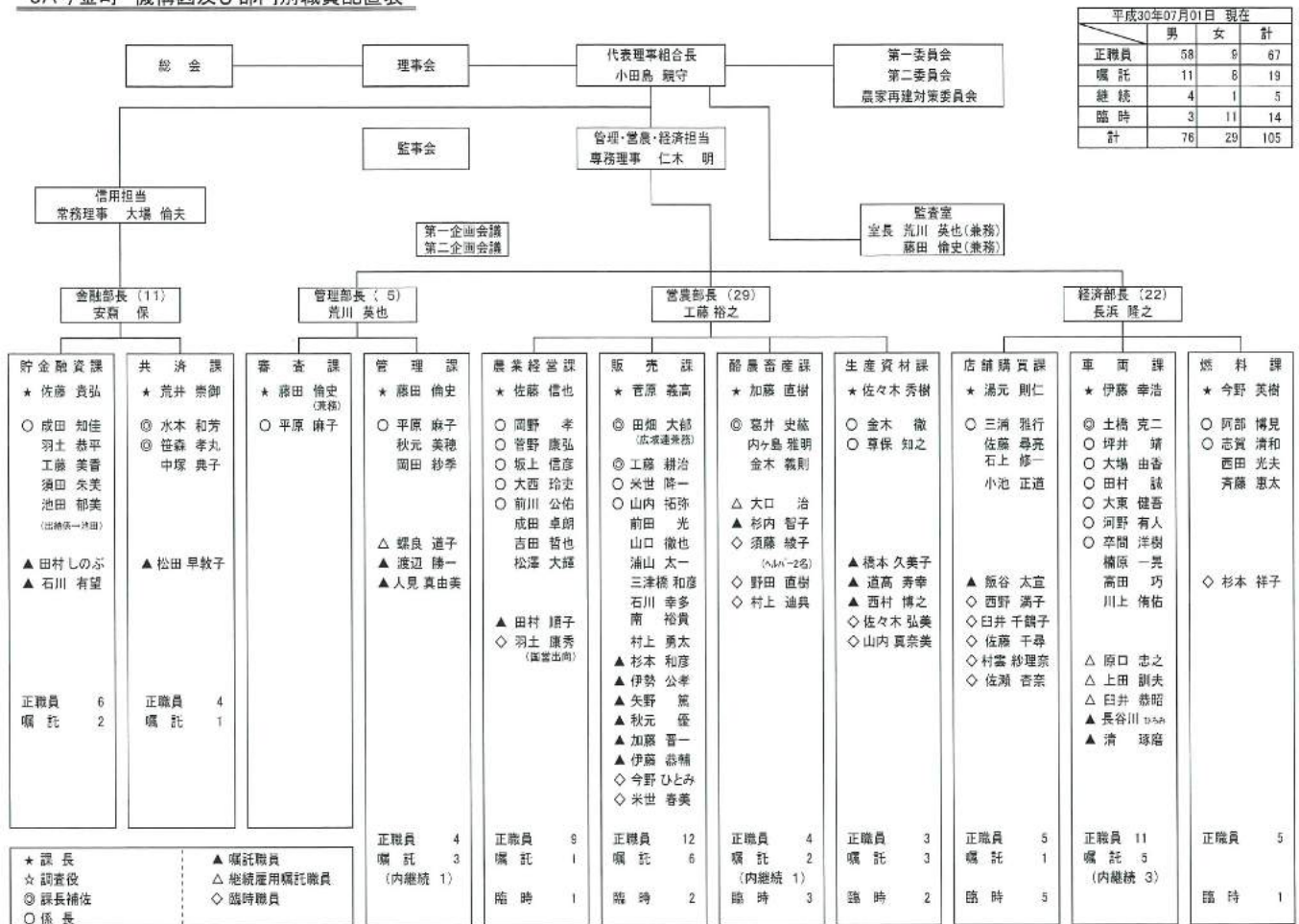
◆議決事項

- 議案第1号 平成29年度産馬鈴薯本精算について
議案第2号 平成30年度産早出馬鈴薯の概算払いについて
議案第3号 内部管理態勢にかかる指導要領・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
議案第4号 貯金保険機構監査指摘事項に対する改善状況（案）について
議案第5号 土地取得について

◆協議事項

1. 役員道内研修について

JA今金町 機構図及び部門別職員配置表



平成30年度 部会・振興会等役員組織図

部会・振興会名	事務局	会長	副会長	副会長	副会長	会計	監事	監事
今金町稲作部会	浦山 太一	吉本 辰也	下田屋 直樹	平原 大輔		伊藤 元正	本塚 直行	樋口 洋一
今金町水稻直播研究会	坂上 信彦	石川 大輔	上野 慎悟			沢口 忠大	讃岐 幹夫	吉本 辰也
今金町畑作部会	岡野 孝	川崎 敏彦	須藤 孝政	西 政明	内ヶ島 寛良	伊藤 勇矢	長崎 誠一	鷺野 幸代
今金町種子馬鈴薯委員会	菅野 康弘	伊藤 悟志	村瀬 一人			森川 修	長崎 誠一	杉林 範久
今金町早出馬鈴薯振興会	岡野 孝	笹森 芳弘	伊藤 祐樹			芳賀 健太	成田 正春	広田 建一
今金町麦作振興会	浦山 太一	宮本 翼	土橋 龍二			竹内 章郎	黒沢 正雄	植村 繁嗣
檜山北部広域大根部会	成田 卓朗	中山 一浩	内ヶ島 寛良	(北檜山) 大脇 弘行		須藤 孝政	鎌田 孝俊	村上 民夫
檜山北部広域人参部会	成田 卓朗	大谷 和明	仁木 儀一			上村 朋慶	村上 隆文	(若松) 馬場 丈宣
檜山北部広域小かぶ部会	前川 公佑	村瀬 好亮	(若松) 大堀 賢二			芳賀 健太	(北檜山) 大原 正臣	(北檜山) 多田 容将
檜山北部広域ブロッコリー部会	前川 公佑	(若松) 馬場 丈宣	(北檜山) 大脇 弘行	(今金) 伊藤 勇矢		(若松) 加藤 一博	仁木 儀一	(北檜山) 多田 容将
今金町ブロッコリー生産組合	前川 公佑	西 政明	広田 建一			安藤 拓也	水野 利孝	水野 哲
今金町軟白長ネギ振興会	坂上 信彦	飯谷 勉	牧野 司			向井 宗征	松永 敏和	(北檜山) 惣蔵 幸男
今金町ミニトマト振興会	大西 玲史	山本 智明	谷崎 敏之	沢口 忠大		藤倉 雅人	南川 栄一	伊藤 司
今金町椎茸振興会	吉田 哲也	上村 忠					ワークショップ今金	
今金町アスパラ生産組合	坂上 信彦	仁木 宏直	小池 弦徒			植田 竜司	びりかファーム (末藤 春義)	口置 勇馬
今金町農協女性部	成田 卓朗	鈴木 幸子	笹森 博子	津村 明美	仁木 由喜江	村瀬 加代子	谷崎 麗子	村本 敏子
今金町農協青年部	吉田 哲也	宮本 翼	湯元 宏	日置 勇馬	仁木 宏直	臼井 惟佳	坂本 好史	岡林 拓馬
今金町酪農部会	内ヶ島 雅明	幅口 博隆	湯元 宏	山崎 良介		本塚 晴看	古山 邦夫	佐藤 瑛治
今金町和牛生産改良組合	葛井 史敏	村上 寛明	中尾 守	村瀬 一人		荻屋 泰裕	諸戸 邦吉	木島 隆浩
今金町無人ヘリコプター協同利用組合	岡野 孝	伊藤 悟志	岡林 国光	吉本 辰也		南川 栄一	境田 哲也	夕下 富男

7月の営農対策

今後の農作物管理	
水	水稻（早2日） ◎7月は極めて低温に弱い時期ですので適切な水管理（入水・深水・止水⇒水温高め）で幼穂をしっかりと守りましょう。 ・冷害危険期の深水灌漑徹底・・・幼穂形成期10日後からの約一週間、水深10cm～最大20cmまで高めます。一斉に入水すると水が足りなくなりますので、前歴期間から計画的な入水と水深の保持、日中の止水を徹底しましょう。・・・日照が無く、最高気温が20℃以下の日が続く場合は危険！ ・危険期終了後から出穂までの水管理・・・止葉が展開し、前葉との葉耳間長+5cmの茎が8割に達したら危険期終了です。速やかに中干しに移行、出穂が始まったら極浅水に戻し、開花・受精を促し・・・開花終了まで。その後は間断かんがい。 ・発生予察の励行で的確な病虫害防除を！ いもち病・・・「BLASTAM 情報」に留意し、早期発見と防除徹底を。特に葉色が濃く風通しの悪いほ場などは要注意。 カメムシ類・・・水稻の出穂とともに小麦・えん麦ほ場や雑草地等から水田に侵入します。すくい取りでカメムシを確認し、出穂期及び乳熟期の防除に備えましょう。効果が高く残効性の長い薬剤（ワッパ、スタール等）の場合は出穂後7～10日の1回防除で対応可能（H27 指導参考）。防除後もモニタリングを。 注）苗箱処理剤のみでは、被害を防げません！ ・苗床の土壌分析と改善 エン麦鋤込み後、生育不良の床土は土壌分析へ（内容は6月号掲載済み）
小	秋まき小麦（早2日） ・開花も終わり、子実の充実時期に入っています。 ・7月上旬に穂水分調査を実施し、成熟期を判定する予定です。収穫時期については今後、JA 今金町からのFAX 情報を参考にしてください。 ・注意深くほ場を観察し、適期刈り取りに努めて良質麦を目指しましょう。
馬	馬鈴しょ（露地（早5日）（早出し（早6日））共通 ・疫病は20℃前後の多湿条件で発生します。発生前の予防防除が効果的です。もし、疫病の発生が見られた場合は、ほ場の蔓延を防ぐためにも雨前に防除を行いましょう。 ・晴天で気温も高く推移した場合、アブラムシの発生も予想されます。発生を確認した場合は、早めに防除を行いましょう。 ・軟腐病は倒伏や損傷により被害が多発するので、注意して防除を行いましょう。 馬鈴しょ（早出し） ・あと1か月ほどで収穫時期を迎えます。 ・早出馬鈴薯振興会の坪堀り調査結果をもとに収穫の計画を立てましょう。 ・ほ場に野生えいもを残していませんか？ ・野生えいもの目立つほ場がみられます。野生えいもは雑草化したり、病気の発生源にもなります。 ・種子馬鈴しょを作付けしている・していないに関わらず、徹底的に野生えいもを除去しましょう。
豆	豆類（大豆（早3日））（小豆（播種作業遅4日）） ・最終中耕は開花前までに終わらせましょう。開花期に中耕・除草を行うと、根の切断により水分の一時的な欠乏を生じ、落花・落莢の原因となります。 ・排水不良地は茎疫病が発生していないか注意して観察しましょう。過去に発生したほ場は特に要注意です。しっかりと観察して蔓延を防ぎましょう。 ・アブラムシに注意！高密度で吸汁加害されたものは、生育抑制の原因になります。播種時に種子塗抹剤を施していないほ場（種子塗抹していると抑制できる）はよく観察し、防除に努めましょう。

今後の農作物管理	
てんさい	てんさい（早3日） ・ヨトウムシ（ヨトウムシ）の発生に注意！ 幼虫の若齢期に防除効果が高いので、ほ場をよく観察し、食害の程度を確認し防除の必要性を検討しましょう。 要防除水準：被害株率 50%以上で即時防除 ・褐斑病に気をつけましょう。本病は高温・多湿条件にて発生が広がります。ほ場をよく観察して防除しましょう。
ブロッコリー	・花蕾腐敗病対策 春まきよりも株間を広くし、栽植密度を下げます。 基肥を控え、追肥も基準量（硫黄 20kg/10a）を守りましょう。 花蕾が見え始めてから2週間以内で収穫となるため、薬剤の使用時期を確認し生育状況に合わせた薬剤を選択しましょう。
ミニトマト	・脇芽の整理 大きくなりすぎてからの整理は茎を傷めたり、大きな傷口を作ることになるので、10～15cm程度までの小さいうちにいきましょう。 ・温度、肥培管理 日中27℃、夕方～夜15℃、夜～朝方12℃程度とし、昼夜の寒暖差を付けて管理します。 3段果房開花～着果期は、最も負担のかかる時期です。草勢を見ながら遅く追肥を行いましょう。 ・病害虫防除 着果後の花弁や枯れて黄変した下位葉には、灰色かび病が付着やすくなります。枯れた部位や整理したわき芽などは放置せずにハウス外に持ち出すようにし、こまめな換気と防除を行いましょう。 アザミウマ類やオオタバコガ幼虫の発生時期です。果実を食害しますので、ほ場観察に努め、適正に防除しましょう。
大根・小かぶ	・軟腐病対策 高温、多湿条件で、軟腐病の発生が助長されますので予防散布を心がけましょう。 バイオキパー等の微生物農薬は、多湿条件で散布すると微生物の定着が促進され、効果を発揮しやすくなりますので、だいこんでは降雨後、こかぶではかん水後に散布するようにしましょう。
立茎アスパラガス	・立茎 立茎移行中はかん水は控えめとし、立茎開始から1ヶ月半程度で茎が硬く仕上がれば立茎が完成です。 収穫通路やハウスの天井に届いた茎葉を刈り、地際から上70cmの下枝を整理します。控えていたかん水量を増やすことで、鱗芽を刺激し、夏芽の生育を促しましょう。 ・病害虫防除 灰色かび病の発生に注意し、茎葉の整理、換気、防除により、まん延を防ぎましょう。 アザミウマ類、ヨトウムシ類の発生時期ですので、発生状況を確認し、適正に防除しましょう。
畜産	生育（牧草 0日、飼料用とうもろこし 0日） ・飼料の確保 一番草の収量が少なかったという声を聞きます。 一番草のロール数、サイロの詰め込み状況などにより収穫量を確認し、不足が見込まれる場合は、草種に合わせた追肥を行い、二番草および三番草の収穫量を確保しましょう。 原因の一つに雑草が優先している、肥料が少ない、土壌pHの低下なども考えられますので、土壌分析を行い収量向上にむけた対応しましょう。 ・夏場の飼育管理 乳牛・肉用牛への暑熱ストレスの影響を防ぎましょう 牛舎内温度の上昇を抑えるため、①日よけ、すだれ等で直射日光を遮る、②牛舎の窓は取り外し、開口部面積を広げる、③トンネル換気やリレー式換気で畜舎内の換気量を増加させる、④大型扇風機やダクトファンで体感温度の低下を図りましょう。 ・乳質管理 気温と湿度の上昇で、畜舎内は細菌が増殖しやすい状態になります。牛床に十分な敷料を入れるなど管理を徹底し、乳房を清潔に保ちましょう。 生乳中の細菌数が増加しやすい時期となります。搾乳機器の洗浄及び殺菌は、定められた洗剤・殺菌剤の濃度と水温を厳守しましょう。

檜山農業改良普及センター 檜山北部支所

TEL 0137-84-5514

FAX 0137-84-5596

E-mail hiho-nokai-hokubu.11@pref.hokkaido.lg.jp



J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会

J A全中は政策決定のプロセス変化を踏まえ、夏前に政策確立に係る取り組みを強化する方向を示し、本年は6月7日に与党政策責任者に対して全国段階の政策提案を実施しました。J Aグループ北海道では全国大会に先立ち、道内選出与党国會議員に対してJ A北海道大会決議の着実な実践を通じた自己改革の進展に向け、課題となる准組合員の事業利用の維持、会計監査人監査への移行に伴う負担への配慮、中央会の連合会移行に伴う税制に関する所要措置など、農協組織基盤対策に関する意見交換を通じ、J A・組合員の負担増につながらない仕組みの構築について政策提案を実施しました。

J A北海道信連

J Aバンク北海道は、認知度向上と地域活性化の観点から、6月12日のファイターズ公式戦を、J Aバンク北海道スペシャルナイターとして開催し、来場者にファイターズとコラボしたオリジナルクリアファイルを配布しました。J Aバンクイメーজキャラクターの松下奈緒さんが始球式を務め、ちよリスがYMCAダンスを踊るなど、試合を大いに盛り上げました。



ホクレン

ホクレンは、社会・地域貢献活動「シーズプロジェクト」の一環として、児童養護施設の子どもたちに北海道日本ハムファイターズの試合を通じて元気と勇気を感じ、地元・北海道への愛着を持つてもらうと、児童養護施設8施設に札幌ドームでの観戦チケット計200枚と限定ユニホームをプレゼントしました。この取り組みは、2013年から継続して実施しており、今年で6年目になります。



J A共済連北海道

J A共済連は、北海道交通安全協会に対し、飲酒運転撲滅うちわ5万本を始め、交通安全旗、交通安全のぼりを寄贈しました。「全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」2017年度入賞作品が掲載されたうちわは、全道各地の夏祭りやビアガーデンなどのイベント会場で配布される予定です。このような活動で地域住民の交通安全意識の高揚を図り、安心と安全の地域づくりに貢献してまいります。



J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。



ステキな暮らしを提案します

家の光

料理、家庭菜園、手芸、
健康づくり、お金のこと...
読みたい記事がきっと見つかる!

家の光はこんな雑誌



夕飯作り
もう悩まない!



おやつも安心
カンタン手作り!

家庭園芸



家庭菜園も
楽しく失敗なし!



お楽しみ
連載記事!



旅して産直
レシピだモン!
Vol. 12

人・JA・地域が元氣

家の光

お申し込みはお近くのJAへ

定価(税込)
●普通月号 617円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 906円
●家計簿付き12月号 1,008円



年6回

お役立ち別冊付録付き



※記事タイトル・内容は変更することがあります。

JA広報いまかね 510号 ホームページ <http://ja-imakane.or.jp/>

発行：今金町農業協同組合 住所：北海道瀬棚郡今金町字今金 141 番地 電話：0137-82-0212(直通) 編集：営農部農業経営課 印刷：今金はやし印刷社